埼玉の次代を担う後継者

戦後、急速に経済を発展させた〝モノづくり立国〟日本。復興を下支えしたのが、全国各地の中小企業だ。そして今、激変する経営環境の中、多くの企業があらためて世代交代の必要に迫られている。次代を担う埼玉県内企業の後継者４人に、展望を聞いた。

辻井製作所

常務

辻井 裕樹氏

―現在の仕事内容は。

「建設機械や工作機械用の鋳造部品を製造する会社で、鋳造品の分析作業をしたり、営業資料をつくったり、ＩＳＯ取得など安全衛生環境系の実務をやっている。07年3月に入社し、12年7月に常務になった」

―入社のきっかけは。

「大学在学中には携帯電話用着信メロディーの制作会社で働きＩＴ業界に身を置いていた。現社長が実父で、家業なので鋳物は身近なものだったが、次男なので会社を継ぐと思っていなかった。入社を決めて大学卒業後の2年間、ものつくり大学で科目履修生として学んだ。入社後に鋳造、機械加工、製缶の全製造部門を経験し、モノづくりの面白さを肌で感じている」

―1919年創業と、鋳物の町・埼玉県川口市でも老舗です。

「工場内はコンピューター溶解管理システムや生産管理システムを導入するなど、従来の鋳物工場のイメージとは大きく異なると言われる。一見、効率化の取り組みが進んでいるように見えるが、社内にいると、まだまだ改善できる点が多いと感じている」

―会社の将来像は。

「ベトナムなど海外協力会社での生産も行っているが、どんな形になっても国内生産は続けたいしあった方が良いだろう。会社の将来像としては、最大化より最適化。売上と利益のバランスの良い会社にしたい」

建設・工作機械の鋳造部品製造

最適化図り国内生産維持

垣堺精機

専務

垣堺 正行氏

―主力のスリッターマシンについて教えてください

「幅600ミリメートル以上の金属シートロールをそのままかけられるような大型スリッターマシンへの需要が増えている。加工シートは最薄で10ミクロンメートル、スリット幅は最細で1ミリメートルを要するなど難度が増している。装置は数ユニットで構成されるが、1ユニットだけで約4トンの重量がある。そのため、自社の加工機械に乗り切らない部品も増えており、外注先の確保が課題になっている」

―入社からおよそ10年がたちました。日頃感じることは。

「設計、製造、装置の据え付けまで全てのノウハウが必要。社長の50年を越える経験とノウハウに追いつきたいが一朝一夕で果たせる訳がなく、とにかく目の前の仕事をこなしながら懸命に学んでいる。2―3年前と比べると相当忙しくなっている。ため、効率的な業務遂行に何が必要か、常に自問自答する毎日だ」

―今後の展望は

「社長によく言われることだが、『見て学ぶ』力を洗練したい。また、設計、製造、据え付けまで全部を見渡せる判断力を身につけたい。スリット素材もコーティング材など複合材料が増えているため、それぞれに合った切り方を提案する能力が必要。とにかく経験を積み、早い段階で自分発の装置アイデアを形にすることが当面の目標だ」

スリッターマシン設計、製造、据え付け

装置のアイデアを形に

内藤環境管理

常務

内藤 岳氏

―入社前の経歴についてお聞かせ下さい。

「1998年に城西大学を卒業し、巻線機メーカーの日特エンジニアリングに就職した。その後約5年間、営業担当として工場自動化（FA）システムなどの販売を担った。当時の先輩方は、行動力があり製品知識も豊富。新規営業や既存営業などについて、本当に多くのことを彼らに教わった」

―2004年に家業である内藤環境管理に入社しました。

「日特エンジニアリングで働きながらも、当社社長である父が体を壊したらどうなるのかと、次第に考えるようになった。そうなった場合、当社の事業である環境・化学分析の知識を持たない状態で継ぐのはとても大変だ。このため、父が健在なうちに当社に入社することにした。入社前に、東京都江戸川区の都立城東職業能力開発センター江戸川校で化学などの基礎を学び直した」

―後継者として心がけていることは。

「一つひとつの決断の重みが、他社に1社員として所属していた時とは全く違う。従業員の家族の将来なども考えながら、責任感を持って物事を決めるようにしている。また、前職よりも社内で自分の意見が通りやすいのは事実。必要がある時は、従業員の声などを聞きながら、積極的に新しいアイデアを出している」

巻線機メーカーから転職し家業を継承

決断の重み 責任感持って

ネッシン

専務

今村 友亮氏

―世界最小クラスの白金抵抗素子温度計を作っています

「温度測定に関してあらゆるニーズに応えるというのが会社の方針。精度、応答スピード、多点計測のいずれも一流である製品開発に努めている。そのため、生産性と技術力については永続的な課題として常に向上を図っている」

―半導体分野を始め幅広い分野で製品群が利用されています。

「さまざまな分野で制御装置の高度化が進み、微妙な圧力制御が必要な部分など、高精度の温度制御が一層重要になっている。そうした背景もあり、当社の高精度温度センサーの適用分野が増えている。特に新規分野の日本担当部分などでも当社のセンサーが多数使われている」

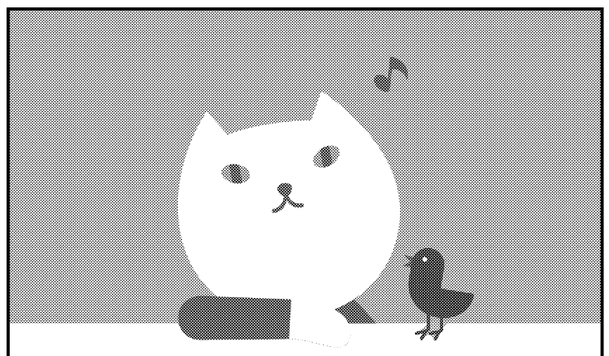
―今後の展望は

「新たにバイオ・医療向けにほぼ点サイズの極小センサーを開発した。今後、伸びが期待できる。リーマンショックから伸び悩んだ半導体業界向け需要もこのところ回復傾向なのは明るい材料。生産体制では規模拡大は追わず質向上を心がける。それには技術・技能者をはじめ、人材の育成が特に重要。地元密着の人材育成をさらに充実させる必要性を感じる」

―世界最小クラスの白金抵抗素子温度計

最先端のニーズに対応

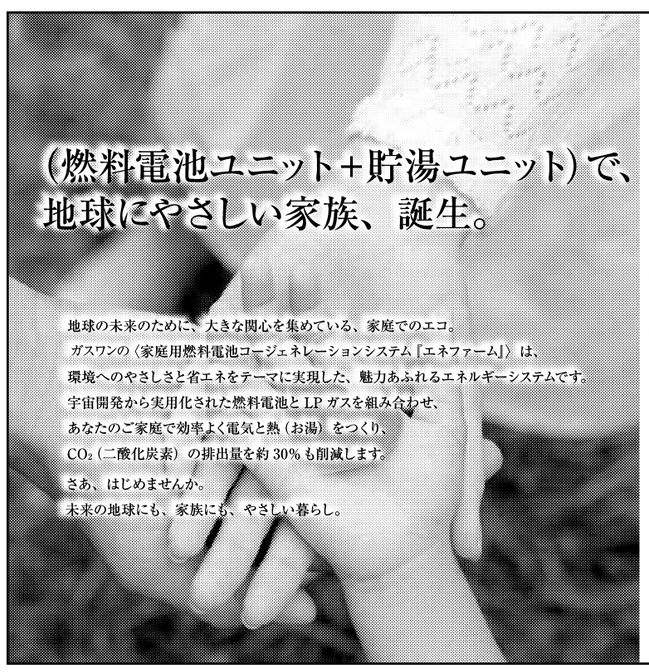
はオーダーメードがほとんどのため手はかかるが、最先端のニーズに触れられるメリットは大きい。例えば国内のスプリング―8や、チリのアルマ望遠鏡では


銀行の常識を変えよう。埼玉りそな銀行 RESONA

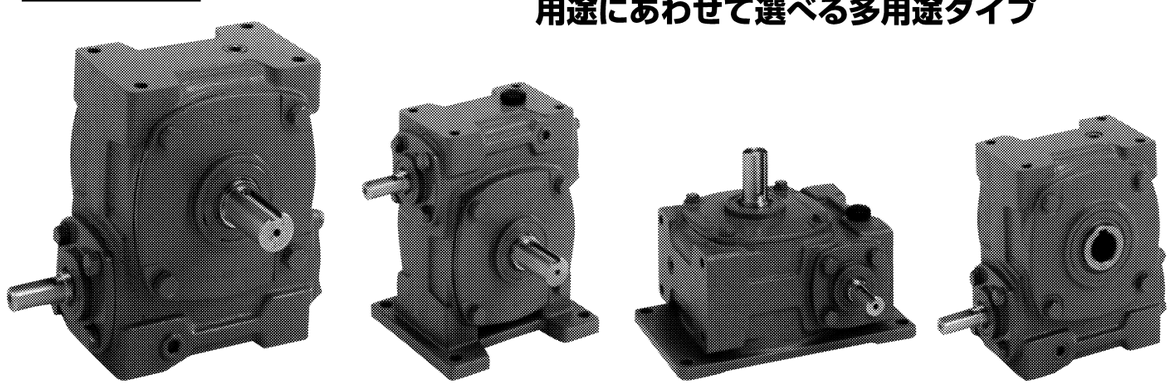
ぐぐっと今に歩む 地元力
さいしんは企業経営のパートナーとして
地元企業を応援します。
埼玉縣信用金庫
〒360-8611　熊谷市久下４丁目141番地
TEL 048-526-1111㈹　http://www.saishin.co.jp

感謝の心で迎える90周年
90 かわしん 川口信用金庫
会　長　山口　泰男
理事長　日下　義章
http://www.shinkin.co.jp/ksb/
〒332-8686　川口市栄町3丁目9番3号　TEL 048-253-3333

通販化粧品企業720社の製品開発・事業支援実績
異業種からの新規参入を
「製品開発」と「販売支援」の両面でサポート
トレードオフを解消し、広告に映える製品を技術で具現化
通販化粧品の広告や販促物2,000パターンを作り尽くしたプロのクリエイティブ
独自エキス　天然100%　市場にない　折込チラシ　会報誌　LP
化粧品を開発するだけでなく、化粧品通販事業全般を支援します！
株式会社サティス製薬　〒342-0005 埼玉県吉川市川藤3895　☎048-984-2233



ガスワン eco プロジェクト　Gas One
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム
ENE・FARM エネファーム
エネファームとは
燃料電池実用化推進協議会によって決定された、家庭用燃料電池コージェネレーションシステムの統一愛称。「エネルギー」と「ファーム＝農場」の造語です。水素と酸素から電気と熱をつくるというシステムの内容が、水と大地で農作物をつくることと似ていること。さらには、自分のエネルギーは自分でつくるという、これからのエネルギーの考え方や、「家庭用燃料電池」は環境にやさしいというイメージを印象づけるために名づけられたものです。
燃料電池ユニット　貯湯ユニット
Gas One 株式会社サイサン　ガスワン サービスセンター 24時間365日受付
本　社：さいたま市大宮区桜木町1-11-5　TEL.048-641-8211
東京本部：東京都港区新橋2-1-1　TEL.03-3539-3130
0120-41-3130
E-MAIL service@saisan.co.jp　URL http://www.saisan.net
ネットワーク：埼玉・東京・神奈川・千葉・栃木・茨城・群馬・長野・静岡・愛知・三重・山梨・新潟・福島・宮城

はせがわ 減速機　BH型
基本機能に徹したBHシリーズ
用途にあわせて選べる多用途タイプ

BH　BHD　BHV　BHH（出力中空型）
減・変速機 総合メーカー　株式会社 長谷川鉄工所
営業部 〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内3-1-1 ☎(048) 798-7511 FAX(048) 798-7375
岩槻工場 〒339-0042 埼玉県さいたま市岩槻区府内3-1-1 ☎(048) 798-7371 FAX(048) 798-7375
URL http://www.hase-gear.co.jp